

|  |  |                     |        |              |
|--|--|---------------------|--------|--------------|
| 科目名<br>Course Name   |  | 開講年次                | 開講学期   | 曜日・時限        |
| カウンセリング応用<br>Advanced Counseling   |  | 2年                  | 後期     | 別途、時間割参照     |
| 単位数  | 授業の形態                                  | 授業の性格               |        | 履修上の制限       |
| 2単位  | 講義                                     | 選択                  | (特になし) | 特になし         |
| 当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目   |  |                     |        |              |
| カウンセリング概論 心理学  |  |                     |        |              |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目   |  |                     |        |              |
| 心理学系科目   |  |                     |        |              |
| 担当者に関する情報  |  |                     |        |              |
| 氏名   | 研究室の場所                                 | オフィスアワー             |        | 電話番号・メールアドレス |
| 小竹仁美   | 講義棟3階                                  | 木・金（授業時間と学生相談時間を除く） |        | 授業中に指示します    |
| 授業の概要  |  |                     |        |              |
| この科目は、さまざまな臨床場面で応用されているカウンセリングの理論と方法を学ぶ。                                   |  |                     |        |              |
| 授業の目標  |  |                     |        |              |
| ①各種療法の基礎理論を学び、説明できるようにする。②各種療法を体験し、その効果を説明できるようにする。③カラーセラピスト資格を取得できるようにする。 |  |                     |        |              |
| 授業の方法  |  |                     |        |              |
| 講義形式と実習などの参加型形式  |  |                     |        |              |
| 学習の成果（学習成果）  |  |                     |        |              |
| ①各種療法の基礎理論を説明できる。②各種療法の体験を通じて、自らの心と体の状態を知り、効果を説明できる。③カラーセラピスト資格を取得できる。     |  |                     |        |              |
| 授業のスケジュールと内容   |  |                     |        |              |
| 第1回目   | ガイダンス アドバンスカラーセラピスト資格の説明（外部講師による講座を受講） |                     |        |              |
| 第2回目   | カウンセリングの諸理論                            |                     |        |              |
| 第3回目   | 心理検査等による自己分析（エゴグラム） 交流分析               |                     |        |              |
| 第4回目   | アドバンスカラーセラピーの理論 体験 *当日レポート①（カラーセラピー体験） |                     |        |              |
| 第5回目   | メディカルハーブの基礎                            |                     |        |              |
| 第6回目   | メディカルハーブの各論① 種類と効用 オリジナルブレンドハーブティー作り   |                     |        |              |

|  |  |   |
|--|--|---|
| 第7回目   | メディカルハーブの各論② 作成方法 オリジナルブレンドハーブティー作り      |   |
| 第8回目   | 投影法 描画療法（スキュグル法と物語作り）                    |   |
| 第9回目   | コラージュ療法の理論とコラージュ作成体験 *当日レポート②（コラージュ作成体験） |   |
| 第10回目  | グループエンカウンター体験                            |   |
| 第11回目  | 動作と心の関係                                  |   |
| 第12回目  | 臨床動作法の基礎理論と体験                            |   |
| 第13回目  | ストレスマネジメント ストレスのアセスメントシート作成 *課題①提出       |   |
| 第14回目  | 箱庭療法①                                    |   |
| 第15回目  | 箱庭療法② *課題②説明（箱庭作成体験） 提出は1週間後             |   |
| 事前・事後学習  | 体験した心理療法の資料を読み直し、疑問点があればITや図書館で調べる。      |   |
| 成績評価の方法と基準   |  |   |
| 評価の領域  | 割合                                       | 評価の基準                                       |
| 授業参加態度   | 40%                                      | 講義を集中して聞き、実習に積極的に取り組んでいる。学習した技法を活用している。     |
| レポート   | 30%                                      | 授業内容に基づいたテーマで、内容構成がしっかりしていて、学習効果が十分に示されている。 |
| 調査報告書  |  |   |
| 小テスト   |  |   |
| 試験   | 30%                                      | 論述問題。                                       |
| 発表内容（態度含む）   |  |   |
| その他  |  |   |
| 教科書と参考図書   |  |   |
| 資料を配布する。   |  |   |
| 履修上の留意点・ルール  |  |   |
| ハーブティ実習の材料費は自己負担である（3,000円程度）。アドバンスカラーセラピスト養成講座は別日程で実施する（受講希望者は17,000円必要）。●実務経験 職種：臨床心理士（心理判定員）、職歴：通算25年 |  |   |